

知って役立つ

ミニ家庭医学講座

第2回



就任して数カ月が経ち、外来でも複数回お会いする方も増えてきております。

初めて会う時はお互いに緊張した中での診療になりますが、2回目からはお互いにちよつとずつ慣れて相談できることも増えてくると思います。90代でも一人で歩いて外来に通院される方がいる一方で、そろそろ外来に通院するのも難しくなってきたと思われる方もおります。

家庭医の診療の方法として「訪問診療」と「往診」というものがあります。

訪問診療とは、寝たきり、またはほぼ寝たきりに近い状態で外来通院ができない方に対して、医師や看護師などが定期的、計画的に自宅へ訪問して診療を行います。血圧測定、注射や点滴、処置などできることは限られていますが、通常月に1〜2回自宅で診療が受けら

れます。医師が診察するだけでは不十分で、「訪問看護師」という専門の看護師が自宅での療養の手助けをしてくれます。

一方、往診とは急病により通院ができない場合に緊急に自宅に何って診療をすることを言います。現在、診療所では訪問診療は行っておりませんが、往診は行っておりません。

介護は、介護保険が平成12年に開始されて以来、ほぼ家族だけで行うものから専門の介護士がお手伝いできるよう変わってきています。しかし自宅での介護では、まだまだ家族の負担も大きく、特に夜間の対応などは難しい場合もあります。自宅での介護が難しい場合は、老人施設での介護ということになります。施設にもよりますが、通院が困難になった場合には施設へも訪問診療が可能ですので、

施設のスタッフに相談してみてください。ただし老人保健施設、特別養護老人保健施設は専任の医師がおりますので、原則訪問診療はできません。

訪問診療が可能かどうかは医師の判断によりますが、担当のケアマネジャーもしくは診療所にご相談ください。

札幌市生まれ、39歳。2001（平成13）年旭川医科大学医学部卒。2005（同17）年北海道家庭医療学センター家庭医療専門医研修修了。日本医師会認定スポーツ医、同会認定産業医。

古川倫也医師プロフィール

古川倫也医師プロフィール

古川倫也医師プロフィール

貸し出し図書・ビデオ紹介 文化交流館 ☎82-4245

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています★

1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間

貸し出し検索 ☞ <http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>

白雪姫と鏡の女王 (映画、DVD) ハピネット



白雪姫は、父親である国王が幼いころに亡くなって以来、継母の女王に城に閉じ込められていた。わがままな女王のせいで、今や王国は破産寸前。女王は隣国のリッチでハンサムな王子と結婚することで富も愛も手に入れようと企む。しかし王子は白雪姫と恋に落ちてしまった。白雪姫は怒った女王の側近に命を狙われ、森へと逃げる。(106分)

白雪姫は、父親である国王が幼いころに亡くなって以来、継母の女王に城に閉じ込められていた。わがままな女王のせいで、今や王国は破産寸前。女王は隣国のリッチでハンサムな王子と結婚することで富も愛も手に入れようと企む。しかし王子は白雪姫と恋に落ちてしまった。白雪姫は怒った女王の側近に命を狙われ、森へと逃げる。(106分)

クロコダイルとイルカ (絵本)

ドリアン助川/作 あべ弘士/絵 メディアパル/刊



ある日、アヤカと名乗るイルカにであいました。クロコダイルはしっぽのさきまで、'ぼーっ、とあたたまるようで、むねがどきどきします。アヤカをにがしてあげたクロコダイルは…。人の優しさと親子の絆をテーマにした映画「じんじん」から生まれた絵本。

らんぼうもので、なんでも手あたりしだいに食べてしまおう、でっかい、でっかいクロコダイル。ある日、アヤカと名乗るイルカにであいました。クロコダイルはしっぽのさきまで、'ぼーっ、とあたたまるようで、むねがどきどきします。アヤカをにがしてあげたクロコダイルは…。人の優しさと親子の絆をテーマにした映画「じんじん」から生まれた絵本。

心(一般書)

姜尚中(カン・サンジュン)/著 集英社/刊



青年・直弘は親友を亡くして悩み、大学教授に手紙とメールで相談を持ちかける。その青年の名前は、期せずして教授の長男と同じ名前だった。長男は神経の病に苦しみ、引きこもりを続けた末、25歳で自殺していた。若くして亡くなった友の死を受け入れられず、生きる意味を見失っている青年。一方、自殺してしまった長男。「どうして人は生きるのか」一。長男の死後投げかけられた問いを絡めながら、悩める若者に向けて書いた一冊。

青年・直弘は親友を亡くして悩み、大学教授に手紙とメールで相談を持ちかける。その青年の名前は、期せずして教授の長男と同じ名前だった。長男は神経の病に苦しみ、引きこもりを続けた末、25歳で自殺していた。若くして亡くなった友の死を受け入れられず、生きる意味を見失っている青年。一方、自殺してしまった長男。「どうして人は生きるのか」一。長男の死後投げかけられた問いを絡めながら、悩める若者に向けて書いた一冊。